

EPIPHANY TIMES

No.170 JAN.2025 / SINCE MAY.2010

「ありがとう マリア」

2025年1月23日の朝、マリア 北島美香さんは天国に旅立たれました。僕より2つ年上のお姉さん、62歳の御生涯でした。美香さんのことを誰かにお話すると「そんな人は、この世の中には、おらんやろ」とよく言われます。ところが、ホントウにおられたんです、確かに、僕の牧師人生において、出会うことができました。

美香さんは、末期のガンを告知された後でもそれまでと変わらず、いつもの笑顔で周りの人々を励まし、勇気と希望を与えてこられました。抗ガン剤の強い副作用で女性の宝である髪が抜けてしまった時も「いいでしょー？」と満面の笑みで、ありのままのお姿をSNSにUPしておられました。「あー、この方には、ほんま、かなわんなあ」。僕がガンを告知されたら、独りで塞ぎこんで部屋に閉じこもり、きっと誰にも会えなくなってしまうことでしょう。SNSに写真をUPするのなら、アプリで髪の毛部分を加工して、できるだけ恰好をつけたいと思います。しかし、美香さんからは「尚ちゃん（なおちゃん＝藤井先生という意味ですよ）、生命を喜ぶ、神さまに感謝するとは、こういうことなんよ。お分かり❤️」といつもの笑顔で優しく教えられたような・・・そんな気がしました。



「人生の最高の喜びは聖人と出会うことである」。僕の残された人生、『聖・美香さん』の天国での祈りに支えられて歩いてゆきます。

ありがとう マリア

司祭 マルコ 藤井 尚人



日本聖公会

姫路頭栄教会

〒671-1152 姫路市広畑区小松町4-36

URL <https://himeji-epiphany.org>

司祭携帯 090-2191-6958



【2月の予定】

☆2月の日曜学校 9:30～

2月 2日(日) 節分

2月16日(日) クレープ作り

詳しくはWebで！

<https://himeji-epiphany.org/page-50/>



☆2月のガール・スカウト

2月 8日(土) 14:00

バッジ申請・シンキングディの学び

2月23日(日) 9:30 シンキングディ

☆2月16日(日) 堅信受領者総会

10時30分の開会礼拝から、堅信受領者総会を開催します。総会資料を御持参の上、御参集下さい。欠席の方は委任状の提出をお願いします。尚、委任状の提出がない欠席の方は、従前通り議長委任となります。予め、御了承下さい。

☆2月22日(土) ホームレスの方のためのお弁当作り
姫路グローバルワイズメンズクラブ

ワイズメンズクラブとは、YMCA運動を支援するボランティア団体です。毎年2月にホームレスの方のために炊き出しをしてきましたが、コロナ禍以降はお弁当を作ってお配りしています。当日は当教会で10時30分からお弁当を作ります(14時まで)。部分参加でも結構ですので信徒・関係者のみなさまの御協力をお願いいたします。

☆2月23日(日) み言葉の礼拝

藤井司祭・鳥取主日支援につき、「み言葉の礼拝」をお捧げします。4月以降、藤井司祭が鳥取管理牧師となるため、姫路では毎月第4日曜日が、み言葉の礼拝になる予定です。司祭不足により、1教会1牧師の維持は日本聖公会のみならず、全国の教会で不可能になっているのが現実です。何卒、信徒の皆さんによる「み言葉の礼拝」の司式・奨励奉仕への御協力をよろしく願います。お問い合わせは藤井司祭まで。

☆4月12日(土) 大阪教区主教按手式・就任式
大阪教区主教座聖堂(川口基督教会)で執行される予定です。主教被選者 バルナバ 小林 聡司祭と御家族のためにお祈り下さい。

☆今年のイースター(復活日)礼拝は4月20日です🌸御予定下さい
御復活の福音宣教が使命(ミッション)であるキリスト教にとって、最も大切な礼拝は、言うまでもなくイースター礼拝です。信徒、関係者のみなさま、今から御予定下さい。

神戸教区主教の辞任について

ルカ武藤謙一管理主教よりお知らせがあり、昨年12月18日付で、現在休養中のオーガスチン 小林尚明神戸教区主教から常置委員会に「主教職辞任」の申し出がありました。当日の常置委員会の同意を得て1月1日の(臨時主教会)が開催され、主教会もこれを承認をいたしました。よって日本聖公会の法憲法規に従い、辞任公示日より60日以内に(臨時)教区会が招集され、次期教区主教選挙が行われることとなります。どうぞ御加祈下さい。

不在の理念

大学時代、私は絵が『描けている』という意味が分からなくなったことがあります。

それは何を描いても物質が表層を変えたにすぎないように思えたからです。

そんな時、高校時代の恩師が自身の個展に当てたステートメントに哲学者メルロ・ポンティの言葉を引用し次のように語っているのを知りその考えが変わりました。

『「…絵画を描くのは、もはや画家ではない。彼は自分が絵画に奉仕しているのを感じ、鑑賞者は作品から彼が絵画に奉仕しているのを感じるのであり、まさに絵画が彼を通して絵画を描き…」となる。つまり、「絵画」というのは、それをあらかじめ所有できるようなものではなく、「画家が絵画固有の理念に所有された」ときに目の前に「顕れる存在」ということではないだろうか。』(山田純嗣・絵画論)

顕栄教会にもある「顕」という字には、隠れていたものが見えるようになるという意味があります。(この『絵画』を他の様々な言葉(特に芸術ジャンル)に置き換えても意味は成り立ちます。)

この考えから私は「絵具」や「(モチーフとしての)りんご」といった名指しできるもの(唯物的なもの)にとらわれずに仕事することが大切だと教えられました。

この目に見えない理念そのものを司る方が聖書の神だと私は信じております。

神様の素晴らしさをこの世に顕す者としてこれからも歩んでいきたいと思えます

+渋谷健

月報担当 ミカエル 渋谷 健
発行責任者：牧師 司祭 マルコ 藤井 尚人